

奈良市民だより
【第50号】

發行所
奈良市役所
編集兼 市民課長
發行人 大西一之
印刷所 共同印刷工業

十一月六日竣工式挙行さる

奈良市が国際文化観光都市建設計画の一つとして去る昭和二七年四月一日失業者対策事業で本市北郊黒髪山丘陵地に建設中の総合運動場の内、敷地面積四百四十坪方米グラウンド面積一万三千三百坪方米センター、四の穴、レフト、ライト三万四千呎と西宮球場を凌ぐ野球場がこの程完成しました。このため十一月六日竣工式を終了後、近鉄、阪神、毎日三球団による特別野球試合が行なはれ、さすがの新球場も二万五千のファンで埋まりました。

この球場市民位の向上をめざし市民の総合スポーツセンターの一つとして、現下の苦しい地方財政下にあつて約三年の歳月と就労延人員約十万人の手により、工費概算千六百万円を費して竣工したものであります。

将来は更に陸上競技場、プール等の体育諸施設の完成を図らんとするものであり、目下市西郊に建設業務進行中の国際ゴルフ場と共に国際文化観光都市建設の基盤を築くべく鋭意努力中であります。(写真説明：完成した市営奈良球場の全

安定を基盤とした国際文化
観光都市の建設も市民の協

いぢらしい納税意欲

子供心に
八千万円の滞納を本格的に整理しはじめた本市では差押え処分などにより逐次成果をあげつつありますがこの程、本市並びに教育委員会が掲唱した児童からの

改めよう考え違い

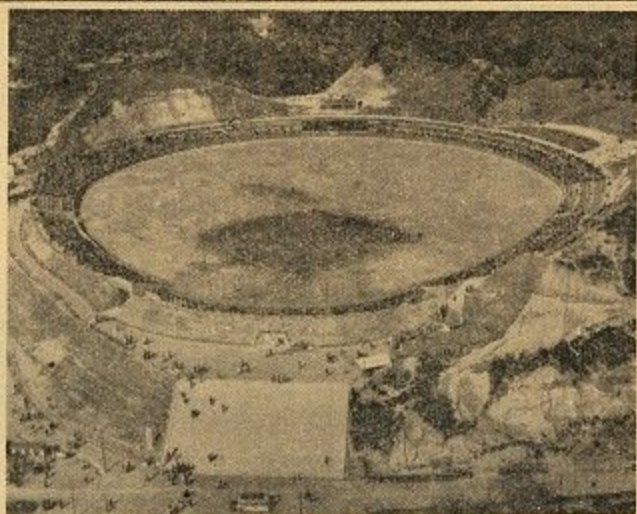
「納税で明るく築こう新奈良市」

納税についての作品募集機
切りが行なわれ、優秀作品
の発表がありましたので、十
二万市民のみなさんに御紹
介します。

市長を訪ねて市政を語る

建設的意見は市政に反映

市民のたれとでもよく会つてだれのいうこともよく聞くことを必要とする奈良市長高橋正次氏も公務が繁忙するにつれていわゆる有名人や代表者など特定の人達を除いた一般市民とはどうしても疎遠になり勝ちである。市長という職業柄これも亦止むを得ないとして、本市の現状を更によりよく改善すべきであるとする一般市民みなさんの率直な建設的意見が為政者たる市長に通じないようでは明るく奈良市の建設を為し得ない。市民みなさんおかげで、市民も気軽な気持ちで話合えるでしょうがなかなかその機会には恵まれません。市長にしてみれば民生



＜毎日新聞社奈良支局提供＞

税金

東市

十月のはじめ、前田先生から「小学生のみなさんへ」と見出しの緑色の紙を何も説明しないで渡して下さった。私は、何の紙やろう、何書いてあるのやろうと思つて読んでみると、「納税についての作品募集」として、税金は大切であることが書いてあり、そのことを大人の友達に知らせるための標語・ポスター・作文の募集であつた。私は大人の人達は税金の大切なことと知らないかなあと思つた。晩、お夕飯の時、父に「お父さん、うちの税金納めてんの」と尋ねると、「そりや、納めてるよ。急にそんなことを聞い

のこともや。税金の大切なことを話した。父は、「そうだな、その通りだ。納税は国民の義務だからなあ。ところが近ごろの人たちの考え方が變つたと言ふのか、不景気で金詰りというのか、税金を納めないやならん時に納めない人が多いから困つたものだよ。それで奈良市は今年二億円も赤字だぞ。うだよ。」うちの町にも納められないうちもあるの」「そりやあるやろう、お父さん」はあじょう知らんけど」「なぜ税金納めないのや」「それは色々わけがあるんやろう。お金がなくて納められない家、税金が高すぎるからと不ふくて納めない家、税金の使われるのが自

Illustration of a school building with children playing outside. The building has a sign that reads "せい んで きる" (Sei Nde Kiru). Below the building, there is a playground with a swing set and a slide. Three children are playing: one girl in a dark dress is standing, and two boys are sitting on the ground. The text "くら の か こ" (Kura no ka ko) is written at the bottom.

自動車臨時運行の許可
市役所総務課で取扱
道路運送車輛法の改正に
、並來、長、運、務、所、

許可番号標が貸与されます。
手数料は一件につき五拾円です。

（写真説明）
納税意欲昂揚作品「ボスタ
ー」 一人入賞作品
落美小三年 岡本佳和

新奈良市」

分の生活に直接の影響がな
いからというわけでの
びよくにすう人たちもいる
から」お夕飯が終つて食堂
から居間にみんな移つた。
母はすい事場の流して後始
末の食器を洗う。その水の
音がラジオの音楽の間にき
こえる。私はさきほどの税
金の話が、まだ頭に残つて
去らなかつた。色々なわけ
があるからつてだんだん納
税めな人が多くなつたら
いい市や県や国がどんな
なるだろうか、と考える
と私はわからなくなつた。
「お父さん、みんな税金納
税めなようになつていい
だろうな」とうて「そ
うなればえらいことや、お
まえたち学校へも行かれな
いし、もちろん国も市もな
けれど心配しなくていい

よ。めつたにそんなことには
ならん。どうしても納税め
ない人には、強制しよ分と
いつてさしおさえられるこ
とにさきとるのや」。「善
しおさえつてなにや」。「そ
れは税金の代わりに家の品
物をとられることや」「そ
うすればおそいかい」かど
うせ私わならんや。やな
あ」「そうや」私はいすれ
納めなければならぬ税金
なのだから納期におくれぬ
ようにすればいいのにと思
つた。父はまた言葉をづづ
けた。「たい納者のうち、
もつともと思われ人もあ
るだろうけれど、そんなの
はわずかで、大部分考えか
たが違つてゐるんや、毎日
のくらにしているお金が残
つたら納めてやるといふ考
えにやならんから納めた残
りややらから納めた残り
で、暮しかたを考えたけれ
ばいいかんという人がい
わけや」「どつちの考えか
たがいいのですか」「そり
や後の方さ、税金は直接自
分の家をよくしたり、着物
を買つたりするには、もど

お米の希望配給は15日以後

新通帳は12月1日に交付

選奨規則に基づく表彰式

今年は十三名に記念品を贈呈

と報道されております。お米は現在年令別配給標準量によつて毎日、満一歳の赤ちゃんと二〇g、一才迄二七〇g、五才一八才迄三二〇g、一才一十三才迄四〇〇g、四才一四才迄四〇五g、五才一五九才三八五g、〇才以上は三三〇g配給されており妊婦の場合は五以上七〇g増加配給されています。この品目は内米、準内地米、外地米の種類で配給量の基準を定める日は毎年六月一日と十月一日とされています。たがつてこの期日には本の申出により仮りに済年

納税意慾昂揚作品入選者氏名（標語）

等	納税で明るく築こう新奈良市	等	納税で文化の奈良は伸びて行く
落美小	五	広岡	成子
梅井小	六	児島	昭子
大宮小	三	辻井	敏子
明治小	六	山口	輝雄
おさめる税金明かるい奈良市		松岡トキ子	
納税は身のため市のため国のため		八島よね子	
あなたも私も笑つて納税			
東市小	四		

（被表彰者と関係者）



孝子節婦など、奈良市の選奨規則に基く表彰式は、例年通り菊薫の十一月文化の日を卜し、多数来賓の列



(被表彰者と関係者)

基礎量に基いて増加配給される事になるわけですが、十二月一日には毎年通帳も発行される事になつていますので便宜上、市に於て配給基準量も調整（基準量の調整は六月一日も行う）いたしておりますので万一間違ひのありました時は直ちに市役所へ申出て下さい。

さて係の深い希望配給はた今述べました配給基準量によつて十一月分については十五日以後に三日分だけ一月以後については毎月配給量を適宜登録店先及び関係機関において公表いたすことになりましたのでお知らせいたします。

十二月分の配給量は、内地米が九日、準内地米が四日外米が二日分で他に希望配給米が内地米で三日と合計十八日分配給されることになるわけですが、

奉く表彰式

二名に記念品を贈呈
席を得て、市庁別館において挙行された。

今年度の被表彰者はつぎの通り十三名で、例年に比べ孝子として表彰された十代の人達が多かつただけに、記念品贈呈後高松市長からの祝辞も「今日の表彰をさらに将来意義あらしめべく努力されたい」と結ばれて終了した。

○辻本孝次君（14）法華寺町 幼時に父と死別し祖母や母に仕えて孝養をつくし弟をいたわり、新聞配達をして家計を扶けつゝ學業に励んでいる。

○中辻光一君（12）佐紀町 幼い時に父に死別し母も病床に伏して艱難辛苦の中に姉妹と力をあわせ新聞配達をして家計を扶けながら母の看護につくしつゝ學業に励んでいる。

○山中秋男君（15）鹿野園町 幼くして父の戦死に遭ひ祖父や母に孝養をつくし妹をいたわり、新聞配達をして家計を扶けつゝ學業に励んでいる。

○杉浦三三君（21）八条町 幼時から両親が病の床に就いて不遇に育つたが苦心努力して家運の挽回を計り永年両親を慰めて孝養をつくしておられる。

○吉川幸治君（13）池田 幼きときから両親が病の床に就いて不遇に育つたが辛苦に耐えてよく妹をいたわり、學業のかたわら新聞配達をして両親の看護につくしている。

○山岡マエさん（34）白毫寺町 嫁いで後僅か数日で夫の召集に遭ひ今猶生死不明の不遇の中にも老いたる両親に孝養を尽し婚家の維持につとめておられます。

○山中ヨウ子さん（49）杉ヶ町 早くから夫に死別し、生活の困難の中にも二十製菓業に精勵將勤せられ一子の養育につくされしました。

○武田ハルさん（44）奈良坂町 早くから夫に死別し三人の子女を抱えて艱難辛苦と斗ひながら瓦工業会社社員に工員となつて精勵、子供の養育に専念して来られました。

○脇田よしをさん（39）法蓮町 十九年の永い年月に亘つて病弱の母をよく看護し夫の戦死後も苦しい生計を支えて家政を整え子女の養育に専念せられました。

○釜本ヒサエさん（45）中山町 夫の戦死後老父に仕え五人の子女の養育につくし纖手によく世の艱難にうち克つて一家を支えておられます。

○辻岡カズエさん（44）二名町 夫の戦死後社会の困難に耐え老父母に孝養をつくし子女の養育につとめ、女手に農事に励まれ供米を初め諸税の完納を果されておられます。

○水原龜吉氏（77）南魚屋町 尾花劇場に勤務すること五十年よく格闘精勵しておられます志行は洵に奇特であります。

○平井武松氏（54）三条町 衛生思想の普及に努め、昭和二十七年以来早朝から町内の道路清掃や下水道の浚泄に奉仕して町内の美化環境衛生の改善につとめておられます。

